

千葉県野球協会特別規則

この規則は、別に定める規則を除き、千葉県野球協会(以下「本協会」という。)が主催する大会の全ての試合に適用する。

1	監督または主将(少年・学童は監督と主将。)は、第一試合を除き前試合4回終了後、直ちに大会本部が用意するオーダー表を提出してください。但し、学童は3回終了後とする。
2	オーダー表の記入方法 (1)登録された者の全員を記入する。なお、参加選手が9名以上いることの確認のため、当日不参加者選手の氏名左に<レ>を付記する。 (2)指名打者制を採用の場合、指名打者の守備欄に<DH>、先発投手は所定の場所に各々記入する。
3	背番号(学童) 学童大会の出場チームは必ず背番号(0番から27番まで、監督30番・主将10番・コーチ29番、28番)を付けること。
4	ベンチに入れる人員(少年・学童) 登録されたユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手9名以上25名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、各1名とする。ただし、監督、コーチは成人でなければならない。 なお、学童については介護員2名以内を認める。
5	正式試合 正式試合になる回数は、5回とする。(学童は、時間を優先する。) 指名打者制を採用する。
6	得点差によるコールドゲームの適用 (1)9回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して10点差が生じた場合及びゲーム中において、7回を終了して7点差が生じた場合。〈二段階制〉 (2)7回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して7点差が生じた場合。 (3)6回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して7点差が生じた場合。
7	投手の投球制限少年(中学)学童 少年 1日の投球数は100球以内とする。試合中規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。 学童については、1日の投球数は70球とする。なお、四年生以下の投手の投球数は、1日60球とする。試合中規定投球数に達した場合、その打者の打撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。
8	試合時間 (1)一般、9回戦の場合、時間に関係なく9回まで行う。ただし、9回を終了し同点の場合は、「9.延長戦」の規定による。 7回戦の場合、2時間30分としこれを超えた場合新しいイニングに入らない。 (2)少年、2時間00分としこれを超えた場合新しいイニングに入らない。 (3)学童、6回戦の場合1時間30分としこれを超えた場合新しいイニングに入らない。時間優先とする
9	延長戦 (1)天皇賜杯・国民スポーツ大会の場合12回までとする。ただし、3時間00分を経過した場合は、新しいイニングに入らず直ちに特別延長戦とする。 (2)天皇賜杯・国民体育大会以外の場合、延長戦を行わず直ちに特別延長戦とする。
10	1日2試合(ダブルヘッダー)を行う場合のベンチ 大会日第二試合目の勝者は、ベンチの変更は行わず、第三試合目のベンチとする。 なお、大会実施要項の規定を適用しない場合もある。